令和9年3月の開業を目指します

豊岡だるま駅、開業に向けて工事を開始

豊岡地区で令和9年3月の開業を目指して整備を進めている豊岡だるま駅の着工記念式典が、2月22日に行われました。今後、JR東日本による新駅の設置工事が始まります。問い合わせは、都市計画課（☎027・321・1269）へ。

着工記念式典では、富岡市長とJR東日本高崎支社の樋口支社長らによるだるまの目入れが行われました

豊岡だるま駅ができる豊岡地区は、国道18号や国道406号、市道環状線などの幹線道路が整備されています。しかし、地区内は道幅が狭く、バスなどの公共交通は主に幹線道路を運行しているため、自家用車に頼らざるを得ない地域です。以前から、新駅の設置について強い要望が寄せられていました。このため市は、JR東日本と新駅設置について協議を重ね、令和5年3月に駅の設置が正式に決定しました。

また、令和6年12月には、駅名が「豊岡だるま駅」に決定するなど、開業に向けた準備が着々と進んでいます。

JR北高崎駅と群馬八幡駅間に設置

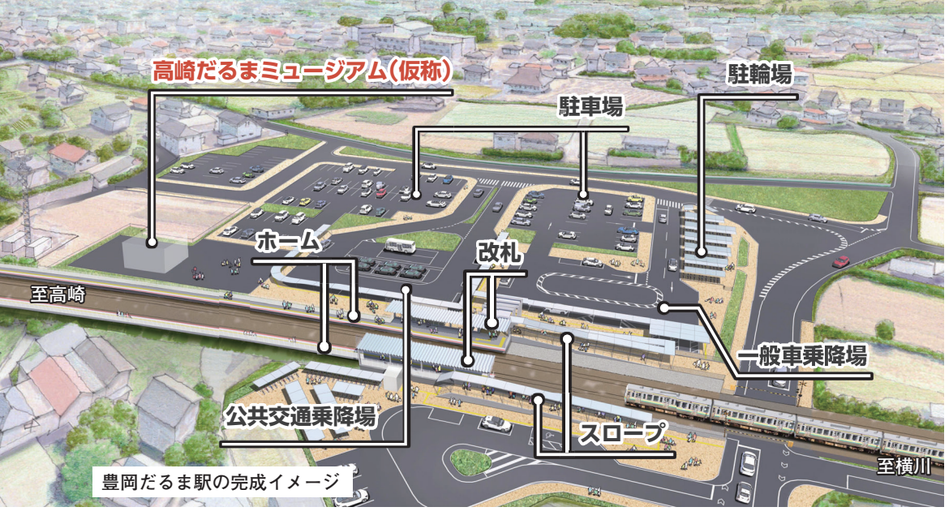
同駅は、JR信越本線の北高崎駅と群馬八幡駅の間に設置します。位置は、中豊岡住宅団地の西側で、北高崎駅から約2・6キロメートル、群馬八幡駅から約1・4キロメートルです。駅前広場を整備してパークアンドライド駐車場を設置するなど、利便性の高い駅を目指します。

豊岡だるま駅の概要

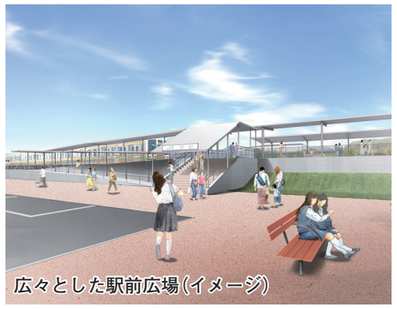
- 所在地＝中豊岡町・下豊岡町
- 路線＝JR信越本線 北高崎駅～群馬八幡駅間
- 改札＝簡易Suica改札機
- ホーム＝2面2線（幅2.1m～4.0m、長さ125m）
- 駐車台数＝約120台

改札から乗車までがスムーズに

簡易Suica改札機を設置した無人駅として整備します



豊岡だるま駅の完成イメージ


広々とした駅前広場（イメージ）

新駅は、簡易Suica（スイカ）改札機を設置した無人駅として整備します。Suicaを持っていない人は、証明書を発券して降車する駅で清算してください。開業からしばらくの間は、職員を配置する予定です。Suicaを持っていない人や使い方が分からない人などをサポートします。

またホームへは、階段の他、スロープを設置。車いすの人やベビーカーを押す人、高齢者など、誰でも安心して利用できる駅を目指します。

新たな橋を含むアクセス道路を整備

新駅へのアクセス性の向上と、周辺道路の渋滞緩和などを目的に、アクセス道路を整備します。アクセス道路は、新駅を起点に国道406号、主要地方道あら町下室田線（経大前通り）を結び、烏川を渡る新たな橋「豊岡経大大橋（仮称）」を設置。これにより、高崎経済大学から同駅まで約1kmとなり、学生の通学の利便性や安全性の向上を図ります。また、将来的には国道18号までつながる道路も計画しています。

伝統工芸の新たな発信地

高崎だるまミュージアム（仮称）

古くから豊岡地区を中心に盛んに製造されてきただるま。高崎だるま®の伝統を守り、歴史や文化を国内外に発信することを目的に「高崎だるまミュージアム（仮称）」の建設に向け、検討を進めています。「伝える」「学ぶ」「受け継ぐ」「結ぶ」の4つの基本コンセプトのもと、体験工房や展示室、ミュージアムショップなどを併設する予定です。

同ミュージアムは、豊岡だるま駅の隣接地に建設。観光客など同駅からの集客を図ります。